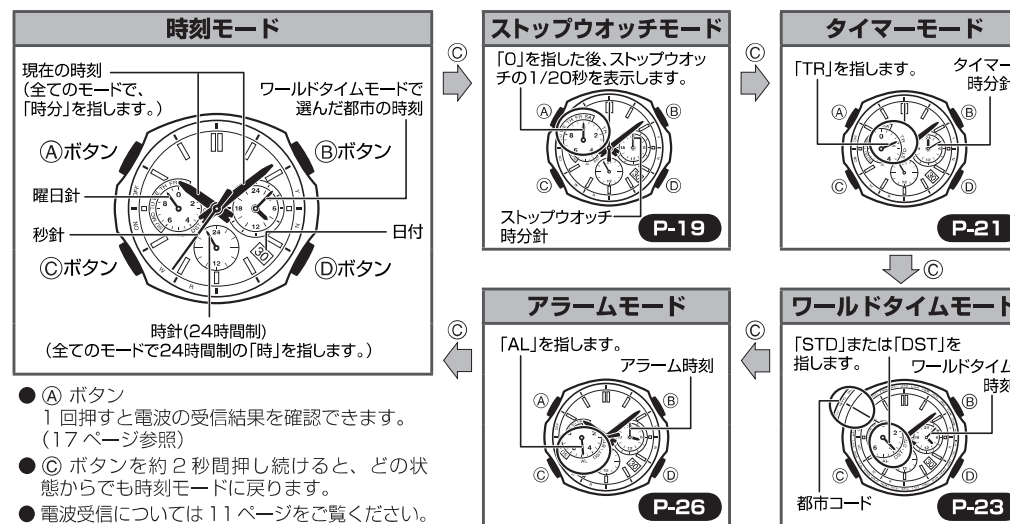


Casio 5174
Multi Band 5

操作のしくみと表示の見方 ※ 機種により形状や文字板の印刷内容が異なります。

- ◎ ボタンを押すごとに、以下の順でモードが切り替わります。
 ※ モード切替え後、約 1 秒経ってからモードの表示に切り替わります。
 ※ 早送りで運針しているときにボタン操作を行なうと、針が一時停止する場合があります。



- ▲ ボタン
1 回押すと電波の受信結果を確認できます。
(17 ページ参照)
- ◎ ボタンを約 2 秒間押し続けると、どの状態からでも時刻モードに戻ります。
- 電波受信については 11 ページをご覧ください。

★ 受信が成功すると

成功した時点で受信を終了し、時刻モードに戻って修正した時刻を表示します。

★ 受信が失敗すると

時刻修正は行なわずに、時刻モードの表示に戻ります。

■ 手動受信

必要なときに、ボタンを押して受信を行ないます。

- 手動受信を行なうときは、以下の操作を行なってください。

- 時刻モードのホームタイム都市に、現在地で受信可能な電波に対応した都市を設定する（12、13、28ページ参照）
- 7ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがって「時刻モード」にする
- 14ページの「電波受信を行なうときの場所について」にしたがって本機を置く

時刻モードのとき、

① ボタンを約2秒間押し続けます

⇒ 秒針が電波受信結果を表示後、「READY」（または「R」）位置に移動します。

※ 時針、分針は通常通り運針します。



★ 受信中は

- 受信中は秒針が受信状況を指します。
「READY」（または「R」）：
不安定な受信
「WORK」（または「W」）：
安定した受信

※ 安定状態がなるべく長く保てる場所で受信してください。

※ 受信が完了するまで、時計を動かさないでください。

※ 受信しやすい場所でも、安定するまで約10秒ほどかかります。

※ 受信状況は、受信状態の確認および受信場所を決める際の目安としてお使いください。

※ 天候、時間、環境等により電波状況は変化します。

※ 時針、分針は通常通り運針します。

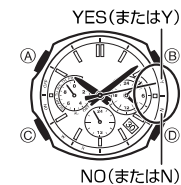


★ 受信完了

- 受信が成功すると、秒針が「YES」（または「Y」）位置に移動し、時刻を修正します。
※ 時刻修正後に時刻モードに戻ります。

- 受信が失敗すると、秒針が「NO」（または「N」）位置に移動します。

※ 約5秒後に時刻モードに戻ります。



★ 受信を中止するときは

いずれかのボタンを押します

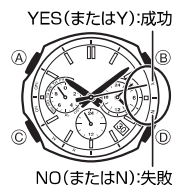
■ 受信結果の確認

時刻モードのとき、

Ⓐ ボタンを押します

→ 受信結果確認状態になり、受信結果を表示します。
受信が成功しているときは秒針が「YES」(または「Y」)(成功)を指し、受信が失敗しているときは「NO」(または「N」)(失敗)を指します。

※ 時刻モードに戻すには、Ⓐ ボタンを 1 回押します。
※ 約 5 秒間何も操作を行なわないと、自動的に時刻モードに戻ります。



受信結果は受信ごとにリセットされます。

■ 受信に関するご注意

- 自動受信は時刻モードとワールドタイムモードでのみ行なわれます。
- 以下のときは電波受信を行ないません。
 - ・ タイマー計測中のとき。
 - ・ 充電切れ予告の状態のとき。
 - ・ リカバー状態のとき。
- 自動受信中にボタン操作を行なうと、受信を中止します。
- 受信は送信されている電波の届く範囲内で行なってください。ただし、電波の届く範囲内でも、地形や建物の影響を受けたり、季節や時間帯(昼・夜)などによってうまく受信できないことがあります。
- 電波障害により、誤った信号を受信することがあります。そのときは、再度受信を行なってください。
- 電波が届かない地域では通常の時計としてご使用ください。
- 電波受信を行なわないときは、製品仕様に記載の精度範囲で動きます。
- 極度の静電気により、誤った時刻を表示することがあります。
- 受信中にアラームが鳴ると、受信を中断します。
- 本機のカレンダー機能は 2099 年までですので、2100 年以降は受信してもエラーとなります。

G -shock

自動的に時計を合わせる

◆自動受信の ON/OFF 設定

自動受信の設定を OFF にして自動受信機能を停止させることができます。

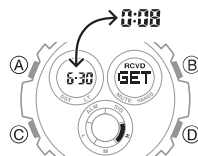
参考

電波の受信に対応している都市をホーム都市に設定している場合は、自動受信の ON/OFF 設定ができます。

🔍 都市コード一覧表…P.65

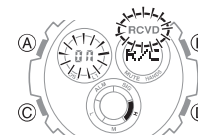
① 時刻モードで ④ ボタンを押して、受信日時表示に切り替えます。

🔍 モードの切り替え…P.25



② ④ ボタンを約 2 秒間押し続けて、自動受信設定に切り替えます。

- [ON] または [OFF] が点滅します。
- セット状態に入ると、針が自動で退避します。



③ ④ ボタンを押して、ON または OFF に設定します。

④ ④ ボタンを押して設定を終了します。

- 受信日時表示に戻ります。
- 設定を終了すると、アナログ針は現在時刻の位置に戻ります。

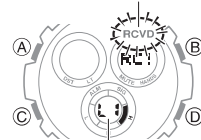
◆手動で電波を受信する

① 時刻モードで ⑩ ボタンを約 2 秒間押し続けます。

- [RC!] を表示し、受信を開始します。
- 電波の受信中は、受信状態レベル (L1、L2、L3) を表示します。

🔍 受信状態のレベル表示について…P.22

受信成功インジケータ



受信状態レベル表示

📖 参考

- 受信の状況が安定するまで、約 10 秒かかる場合があります。
- 受信を中止したいときは、いずれかのボタンを押します。

② 受信が終了すると受信結果を表示します。

受信に失敗すると [ERR] を表示します。



📖 参考

受信に失敗した場合でも、前回の受信 (24 時間以内) が成功しているときは、受信成功インジケータが点灯します。

③ ⑩ ボタンを押す、または何も操作をしないまま 2 分以上経過すると時刻モードに戻ります。

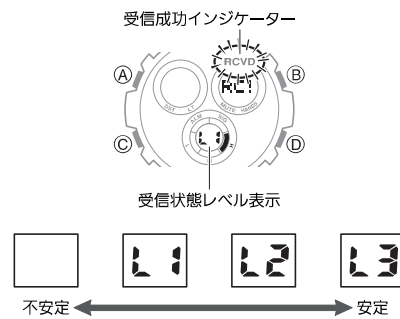
📖 参考

受信を失敗した場合は、周辺の受信環境をご確認になり、再度受信操作をしてください。

自動的に時計を合わせる

◆受信状態のレベル表示について

電波を受信しているとき、受信状態を以下のように表示します。レベル表示を確認し、電波の受信状態が最も安定する所に時計を置いてください。



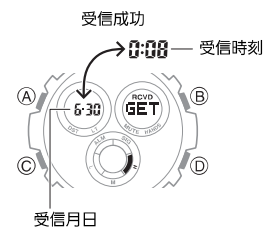
参考

- 受信の条件が良好な場合でも、受信状態が安定するまで約 10 秒かかります。
- 天候、時間、環境などの影響で受信状態は変化します。

◆最終受信の日時確認

① 時刻モードで ① ボタンを押します。

最後に受信した日付と時刻を表示します。



参考

時刻や日付を手動で設定した場合、受信成功インジケータは点灯しません。

② ① ボタンを押すと時刻モードに戻ります。

受信のご注意

- 時刻モードおよびワールドタイムモードのときに自動受信ができます。
- 正確な標準時を受信して時刻を修正しても、表示時刻に 1 秒未満の誤差を生じることがあります。
- 以下の状態では、電波を受信することができません。
 - 充電不足のとき（バッテリーインジケータの表示が [L] 以下）
 - 節電レベル 2 のとき
 - タイマー計測しているとき
 - 針が退避しているとき
- 受信中にアラーム音が鳴ったときは、受信を中止します。
- 日付を自動で設定できる 2099 年 12 月 31 日までは電波を受信しますが、2100 年 1 月以降は受信できなくなります。
- 電波障害により誤った信号を受信したときは、再度電波を受信してください。
- 電波を受信しても時刻の修正ができないときは、平均月差 ± 15 秒以内の精度で動きます。

モードの種類と切り替え

この時計には、機能に応じた 5 種類のモードがあります。各モードの機能とモード切り替え方法は以下の通りです。
また、各モードに共通している機能や操作は、以下を参照してください。

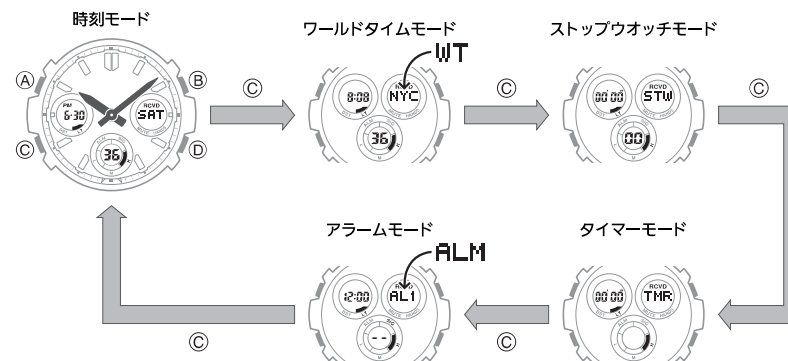
 共通機能…P.26

各モードでできること

モード	機能	参照ページ
時刻	- ホーム都市の時刻表示 - 時刻、日付、サマータイムの設定 - 電波受信 - 受信結果の確認 - 自動受信の ON/OFF 設定 - アラームのカウントダウン表示 12/24 時間制切り替え	P.28
ワールドタイム	世界 48 都市（31 タイムゾーン）の時刻を表示	P.33
ストップウォッチ	- 経過時間の計測 - スプリットタイムの計測	P.36
タイマー	タイマーの設定、計測	P.38
アラーム	- アラーム時刻の設定 - 時報の ON/OFF 設定	P.40

モードの切り替え

Ⓒ ボタンを押すごとに、以下のモードに切り替わります。
どのモードからでも Ⓒ ボタンを約 4 秒間押し続けると、時刻モードに変わります。



参考

ボタン操作音を ON に設定していると、モードを切り替えるごとに音が鳴ります。時刻モードに戻るときは、高い音が鳴ります。

🔍 ボタン操作音の ON/OFF…P.47

モードの種類と切り替え

共通機能

以下の機能と操作は各モードに共通しています。

◆自動表示切り替え

時刻などを設定しているとき（デジタル表示部が点滅中）に何も操作せず 2 ～ 3 分間経過するとセット状態が解除されます。

◆早送り

各モードで設定をするとき、**(B)** および **(D)** ボタンを押して設定内容を変更します。**(B)** および **(D)** ボタンを押し続けると、設定値を早送りできます。

針が液晶表示と重なったら

液晶表示の上に針が重なって見づらいときは、針を液晶表示の上から一時的に退避させることができます。

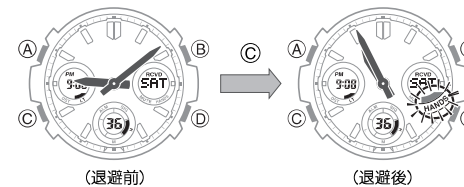
✓重要

- 針の退避中は、電波の受信を行いません。
- バッテリーの充電量が [LOW] のときは、針の退避を行いません。

◆針を退避する

(C) ボタンを約 2 秒間押し続け、[HAND] を表示したらボタンを放します。

HANDS マークが点滅し、針が退避します。



◆退避を終了する（針を現在時刻の位置に戻す）

- ◎ ボタンを約 2 秒間押し続け、[HAND] を表示したらボタンを放します。

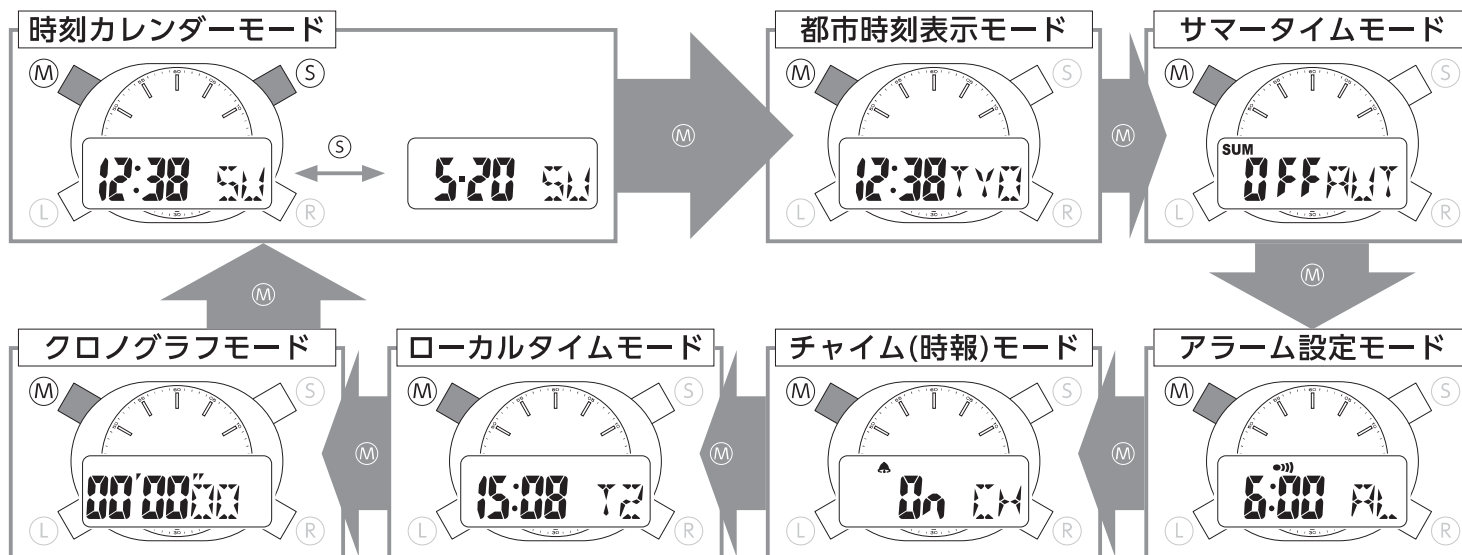
☰ 参考

- 針が退避している状態で何も操作をしないまま約 1 時間すると、針は現在時刻の位置に戻ります。
- 時刻モード / タイマーモード / アラームモードでは、セット状態に入ると自動的に針が退避し、セット状態を抜けると自動的に現在時刻の位置に戻ります。ただし、セット状態に入る前に針を退避していたときは、針の退避は継続します。

5. モードの切替え方

- ・モードの切替えは、Ⓜボタンを押すごとに時刻カレンダーモード/都市時刻表示モード/サマータイムモード/時刻カレンダーモードには、時刻表示とカレンダー表示があり、Ⓢボタンを押すと表示が切替わります。
- ・時刻表示もしくはカレンダー表示のどちらかでもⓂボタンを押すと都市時刻モードに切替わります。

アラームモード/チャイムモード/ローカルタイムモード/クロノグラフモードの順序で切替わります。



※時刻カレンダーモードへの自動切替え機能

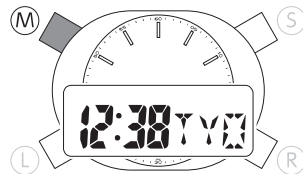
サマータイムモードでの設定表示状態、アラームモード通常状態、チャイムモード設定状態でボタン操作が2分間行われない場合、時刻カレンダーモードに切替わります。

Q&Q

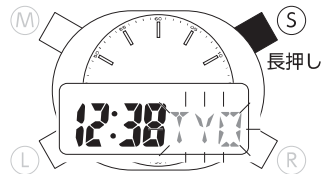
6. 都市コード設定

標準電波受信での「定時受信」「強制受信」をする場合、設定する都市により受信できる標準電波設定した都市の時刻がアナログと時刻カレンダーモードに表示されます。

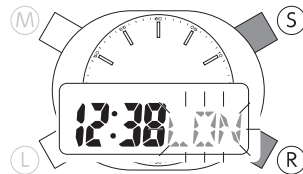
1. ④ボタンを押して都市時刻表示モードにしてください。



2. ⑤ボタンを2秒以上長押ししてください。都市コード3文字が点滅し、点滅している都市の時刻を表示します。時・分・秒針は停止します。
※都市コード点滅状態でボタン操作が2分間行われない場合は、点滅している都市で点滅が終了し設定が終了した状態になります。デジタル部、アナログ部、点滅が終了した時刻に変わります。



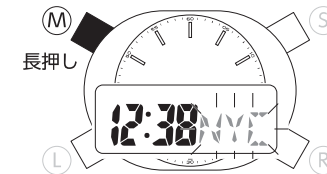
3. 点滅状態で⑤ボタンもしくは④ボタンを押して都市を選択してください。都市を変更するとその都市の時刻が表示されます。(都市コードは、点滅しています)



が遅いので、世界26都市の中からお住まいの地域にもっとも近い都市を選び設定してください。

4. 都市を決定する場合は、選択している都市コードが点滅している状態で④ボタンを2秒以上長押ししてください。点滅が終了し都市コードが決定します。同時にアナログ部（時・分・秒針）も決定した都市の時刻に早回転して変わります。

※都市コードを決定後、アナログ部（針）が決定都市時刻に早回転で変わっている間に⑤ボタンを2秒以上押すと再び都市コード3文字が点滅し都市コード選択状態になります。



時計での都市表示一覧

時計での表示	時差	都市名
AKL	+12	オークランド
NOU	+11	ヌメア
SYD	+10	シドニー
ADL	+9.5	アデレード
TYO	+9	東京
BJS	+8	北京
BKK	+7	バンコク
DAC	+6	ダッカ
DEL	+5.5	デリー
KHI	+5	カラチ
DXB	+4	ドバイ
RUH	+3	リヤド
ATH	+2	アテネ

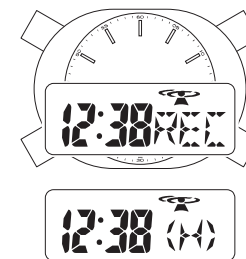
時計での表示	時差	都市名
PAR	+1	パリ
LON	0	ロンドン
PDL	-1	アゾレス諸島
FEN	-2	フェルナンド・デ・ノローニャ諸島
RIO	-3	リオデジャネイロ
SCL	-4	サンディアゴ
NYC	-5	ニューヨーク
CHI	-6	シカゴ
DEN	-7	デンバー
LAX	-8	ロサンゼルス
ANC	-9	アンカレッジ
HNL	-10	ホノルル
MDY	-11	ミッドウェー諸島

7. 時刻の合わせ方

この時計の時刻の合わせ方は、「定時受信」「強制受信」「手動による時刻合わせ」があります。受信できる電波は、**2. 商品の特徴 2-2. 電波時計について**（P16～18）を参照してください。受信できる電波に合わせて都市コードの設定変更をしてください。

7-1) 定時受信

定時受信は、時刻表示状態/カレンダー表示状態/都市時刻表示状態/ローカルタイム通常表示状態で午前2時および午前4時になると自動的に定時受信状態に変わります。午前2時に受信が成功した場合は、午前4時の定時受信は行いません。受信する電波は、都市時刻表示モードで選択した都市の標準電波のみ受信し、受信に失敗した場合は、他の標準電波は受信しません。標準電波局、受信範囲目安、また上手に電波を受信するには、**2-2. 電波時計について**（P16～18）をお読みください。



海外での受信方法

この時計が受信できる電波は、4地域5局〔日本2局・中国・ドイツ・アメリカ〕になります。各電波の受信範囲は、**2-2. 電波時計について**（P16～18）をご覧ください、世界26都市の中からお住まいの地域にもっとも近い都市を選び設定してください。

7. 時刻の合わせ方

受信結果が確認できます

- ④ボタンを押して時刻カレンダーモードの時刻表示状態もしくは、カレンダー表示状態にしてください。(時刻表示状態/カレンダー表示状態どちらからでも操作できます)
デジタル表示部の受信マーク【】で確認できます。受信マークが点灯すれば前回の強制受信もしくは定時受信が受信成功、消えている場合は受信失敗です。マーク点灯状態は次の受信まで継続します。
- ⑤ボタンを押すと前回の受信結果表示に変わります。受信が成功した場合、OKが表示されます。受信ができなかった場合、NOが表示されます。

※2秒以上押すと受信結果表示後、「強制受信」状態になります。

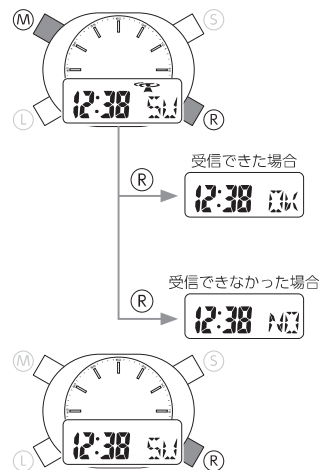
- ⑥ボタンを押すと時刻表示状態もしくは、カレンダー表示状態に戻ります。

※受信結果表示状態では、10秒間ボタンを押さないで放置した場合、時刻表示状態もしくは、カレンダー表示状態に戻ります。

※受信結果表示状態から⑥ボタンを2秒以上長押しすると「強制受信」状態に変わります。

参考

受信結果表示へは、都市時刻表示状態・ローカルタイム通常表示状態からでも同じ操作できます。



7-2) 強制受信

必要なときに、ボタン操作で標準電波を受信して時刻/カレンダーを修正することができます。強制受信は、時刻表示状態/カレンダー表示状態/都市時刻表示状態/ローカルタイム通常表示状態で行えます。受信する電波は、都市時刻表示モードで選択した都市の標準電波のみ受信し、受信に失敗した場合は、他の標準電波は受信しません。
標準電波局、受信範囲目安、また上手に電波を受信するには、**2-2. 電波時計について** (P16~18) をお読みください。

強制受信の操作方法

- ④ボタンを押して時刻カレンダーモードの時刻表示状態もしくは、カレンダー表示状態にしてください。(時刻表示状態/カレンダー表示状態どちらからでも操作できます)

- ⑥ボタンを2秒以上押してください。デジタル表示は、受信結果表示後、即、時分REC表示に変わり電波受信を開始します。アナログ(針)は、秒針が早回転し12時位置で停止します。

※時分針は、⑥ボタンを押すとその場で停止します
※受信結果表示状態からも⑥ボタンを2秒以上押しますと電波受信を開始します。

受信を開始するとデジタル表示は、消えて時分RECを7.5秒間隔で繰り返し表示し、その後電波受信中の状態になると時分と(H)(M)(L)のいずれかの同時表示に変わり7.5秒~19.5秒間隔で繰り返し表示します。



7. 時刻の合わせ方

3. 受信が終了すると受信結果を表示し、10秒後に時刻表示状態もしくはカレンダー表示状態に変わります。
受信が成功している場合は、標準電波の時刻情報により正しい時刻と日付に修正表示され受信マーク也表示します。受信ができなかった場合は、受信操作前の時刻から累積された時刻に戻り表示します。
アナログ（針）は、受信が終了すると早回転して修正を開始します。

参考

強制受信は、都市時刻表示状態・ローカルタイム通常表示状態からでも操作できます。

操作方法は、**2.～3.**と同じです。受信終了後10秒後にボタンを押す前の表示に戻ります。



「定時受信」「強制受信」での注意

※クロノグラフモード表示では、受信はできません。クロノグラフ計測中は、受信はできません。

※時刻修正状態では、受信はできません。

※都市コード選択状態では、受信はできません。

※サマータイムモードでは、受信できません。サマータイム選択状態では、受信はできません。

※アラーム設定モードでは、受信できません。

※チャイムモードでは、受信できません。

※ローカルタイム修正状態では、受信できません。

※アナログ（針）の早送り状態（基準位置合わせ）では、受信できません。

※充電警告状態（2秒遅針）では、受信できません。

※定時受信開始とアラームが鳴るタイミングが重なった場合は、アラームが鳴るのを優先し終了後受信を開始します。

※定時受信とチャイムの鳴るタイミングが重なった場合は、チャイムが鳴るのを優先し終了後受信を開始します。

※受信中（定時/強制）アラームが鳴るタイミングが来た場合は、受信を中止しアラームが鳴るのを優先し終了後再度受信を開始します。

※受信中（定時/強制）チャイムが鳴るタイミングが来た場合は、受信を中止しチャイムが鳴るのを優先し終了後再度受信を開始します。

※受信中は、LEDライトの点灯は、できません。

※LED点灯中に受信のタイミングが来た場合は、LED点灯終了後受信を開始します。

※強制受信を多用すると二次電池を早く消耗します。

受信の中止の操作方法

受信状態でボタンを2秒以上押すと受信を中止して各表示状態へ戻ります。アナログ（針）は、受信前の時刻から累積された時刻に戻ります。

受信状態中に電池電圧の低下を検出した場合は、受信を中止し受信結果はNOを表示します。アナログ（針）は、受信前の時刻から累積された時刻に戻ります。

